

令和 2 年度第二回理事会議事録

○開催日時：令和 2 年 7 月 27 日（月）14 時～15 時 30 分

○開催場所：武蔵浦和コミュニティセンター 8F 第 1 集会室

○出席者：28 期各理事 合計 17 名参加 / 26 名（総理事数）

1. 会長挨拶：栗原会長

①県連協の動向等について説明

- ・県連協の活動について（連絡会以外開催しない）※会費徴収（100 円）しない。
- ・今年度各種事業について（中止とする。）※各連協は、自連協に注力する。
- ・剰余金について（261, 877 円）の扱いについて・・・次回までに各連協から意見聴取

②他の連協との連携・・・何かやれることが無いのか？

2. 議 事

①資料 NO. 1（蕨連協の臨時理事会の議事内容説明）・・・議事録参照

- ・今年度蕨連協の会員数推移（2 年度 670 名）※現行組織（約 9 割）と解散組織（約 1 割）
- ・現行組織（18、19、22、23、24、25、26、27、28、）の 9 期 29 期については、連協へ参加せず。

各期横断型のクラブ（ウクレレ、GG）へ入る場合は、各クラブへ任せている。

- ・今年度の三大事業は、中止とします。（2 年度会費連協 300 円、県連 0 円）
- 但し、コロナの終息が見えた場合、何か事業を考えていく。
- ・今年度の幹事期は、28 期が担当する。（事業を開催する場合は、他の期へ支援要請）
- ・令和 3 年度以降の幹事については、今後、連協の会議で詰めていく。
- ・9 月の蕨連協の理事会で 3 年度以降の運営体制の検討を行っていく。。

★その他特に意見、質問等は無し

②資料 NO. 2（蕨連協校友会へ参加した場合の特典等の説明）・・・資料参照

- ・蕨連協独自事業の説明と各期横断型のクラブ活動の説明
- ・県連、他連協事業への参画について説明
- ・他期、期毎のコラボ事業について説明

■参加理事に対し、蕨連協へ加入すると各種特典が受けられることを説明

★特に意見、質問等は無し

③ 28 期として、今後蕨連協への加入（参画）は必要かを参加理事と意見交換。

- ・多数意見として、

i. 今まで、作り上げた組織なので、やめるのは簡単だが再度の構築は厳しい。

継続した方が良いとの意見がほとんどであった。

ii. 各種特典へ参加した方が良い。（年間 300 円なのでメリットがありとの意見多数）

iii. 各種特典（講演会、音楽会等）へ参加する目的で入学したので、色々な企画へ参加できなくなる。継続した方が良い。

IV. 以上は、継続対し、賛成意見であったが、演芸大会等が開催された場合、役員に稼働付加がかかるので、演芸大会等を簡素化した方が良い。

※他の事業もそうだが、幹事期の役員に付加が掛からないことを考えて欲しい。

★総論としては、

連協については、各種事業への参加等ができるので継続した方が良いとの意見であった。

但し、開催事業の稼働削減等、知恵を絞って開催する方法を考え欲しい。

④令和 2 年度スケジュールについて

今年度は、コロナ感染拡大により、計画した事業の計画ができないので、本スケジュールへ掲できていない。会議のスケジュールだけであるが確認して欲しい。